

農業開発経済学特論 (2単位)

担当者氏名 板垣啓四郎・高根務

◆学習・教育目標

開発途上国の農業・農村開発と国際協力を進めるにあたっては、まず何よりも途上国の農業・農村のおかれている現状とそのメカニズムおよび社会・経済構造を正しく認識するとともに、開発と発展を阻害している諸条件や要因を明らかにする必要がある。その上になつて、農業・農村開発を有効に進める開発戦略、開放政策を提示することができる。本講義は、国際農業開発学総論のうちの農業開発経済学に関する部分をより詳細に講述する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人口動態

農業の生産構造

食料の消費構造

農産物流通システム

農産物貿易

農業・農村開発の諸理論

政府と民間の役割

農業・農村開発戦略

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義概要の説明	講義の目的と方法	開発途上国の経済発展に果たす農業・農村開発の意義との役割を具体的な事例を用いて明らかにする。授業は指定したテキストを用い、またパワーポイントで授業の要点を明らかにする。それぞれの授業の終わりに次回の講義の範囲を述べるので、予習しておくこと。
2	人口・食料問題	世界の食料需給構造と変化要因生産資源と技術の開発学	
3	農業の生産構造 (1)	制度と組織の構築と人材育成の開発学	
4	農業の生産構造 (2)	世界の食料消費パターン	
5	食料の消費構造	途上国における農産物流通	
6	農産物流通システム	農産物貿易と農業発展	
7	農産物貿易	伝統的農業の経済学	
8	農業開発の理論 (1)	経済と農業発展の諸理論	
9	農業開発の理論 (2)	農業開発の誘発型革新モデル	
10	農業開発の理論 (3)	ミクロからみた農業開発モデル	
11	農業開発の理論 (4)	農業開発の政府と民間の役割	
12	政府と民間の役割	加速的農業成長のための戦略要因	
13	農業開発戦略 (1)	農業開発に向けた主要な戦略	
14	農業開発戦略 (2)	全体の総括	
15	まとめ		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

教科書と参考書は、講義の時間に指示する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート 50%、討論への積極性 50%。

◆その他受講上の注意事項

授業は日本語と英語を併用し、またテキストは英語の教材を用いる。概念、用語、内容をよく整理しておくこと。